

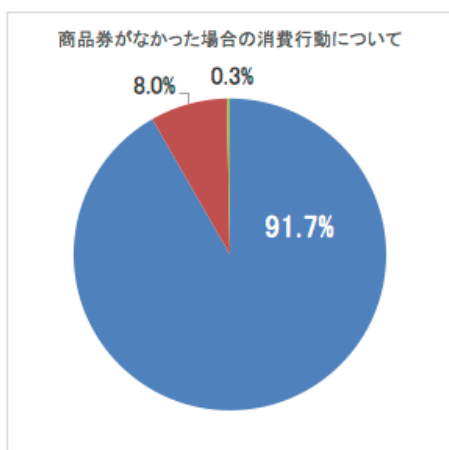
需要動向調査(平成27年度)

1. 総論

香春町を含め、福岡県全体を通して比較的景況の高低幅が少なかった期間であったことが言えます。しかし町内の人口減少、高齢化は年々進んでおり予断を許さない状況であることには変わりありません。その中で如何に効率的かつ的確に需要・ニーズと供給をマッチさせるかが重要になってきます。

2. プレミアム付き地域商品券の利用アンケートから見た消費者行動

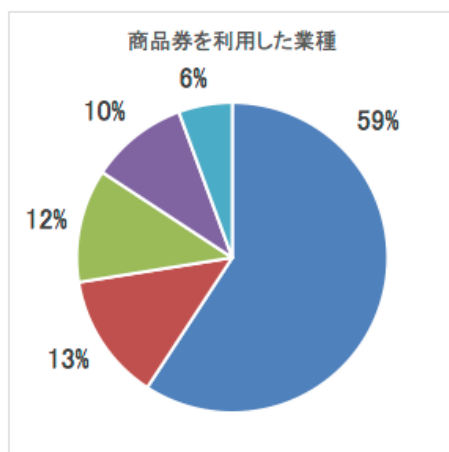
＜商品券がなかった場合の消費行動について＞



商品券がなくても、地元で購入する人の割合が9割を超えていることから、消費者の求める商品・サービスを提供することは有用性がある。

- 地元で購入する
- 地元以外で購入する
- その他

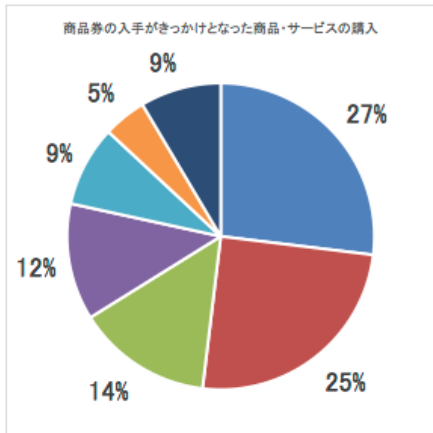
＜商品券を利用した業種＞



利用業種の8割以上が最寄り品(食料・日用品)であり、日常の買い物や生活に密着した商品・サービスを提供することは有用性がある。

- 食品スーパー、総合スーパー
- 飲食店・食事処
- 衣料品店
- その他
- 理美容店

＜商品券の入手がきっかけとなった商品・サービスの購入＞



購入商品・サービスの3割以上が食料品であるという結果でした。

- 《生鮮食料品》米、肉、魚、野菜、果物等
- その他
- 《家電製品》情報通信機器関係 テレビ、携帯、パソコン等
- 《外食》レストラン、喫茶、出前等
- 《加工食品、飲料等》ハム、乳製品、缶詰、味噌、パン、菓子、惣菜、ジュース等
- 《自動車関連部品》カー用品、バイク用品、自転車用品等
- 少数回答諸々

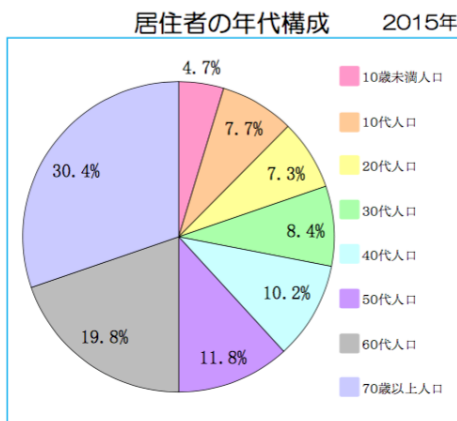
＜調査対象＞

年齢帯	人数	割合
20代以下	6	2%
30代	13	4%
40代	27	9%
50代	47	15%
60代～	221	70%
計	313	2%

本アンケートにおける需要動向は調査対象の年齢帯の多くが60代以上の高齢者が中心であったことが色濃く反映していると予想されます。そのことから地域の年齢帯構成により需要構造に差が生じることが予想され、年齢構成に応じた需要予測、アプローチが必要とされます。

3. 町丁別需要動向の特徴

1) 大字探銅所



年代構成
 60代未満の人口: 49.8%
 60代以上の人口: 50.2%
 町内の60代以上の平均人口割合は44.51%であり、当町丁は高齢化率が5.69%ほど高い。中でも特に70歳以上の人口割合が高い町丁である。
 65歳以上人口比率は39.92%であり、町内平均値(36.01%)より3.91%高い割合となっています。

【特徴】大字探銅所の消費動向として、1) 教養娯楽、2) 食料品、3) 家具・家事用品、4) 保険・医療関連の支出が比較的堅調である。

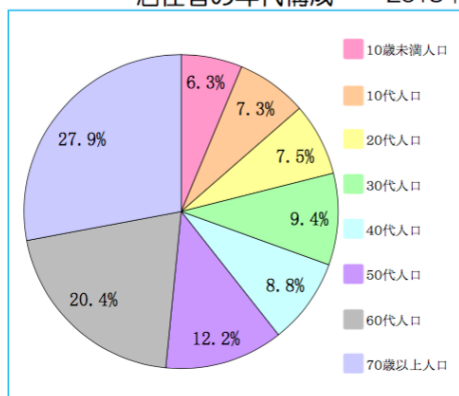
消費動向の堅調な分類、細目

分類	細目
1) 教養娯楽	切り花
	園芸品・同用品
	手芸・工芸材料
	パック旅行
2) 食料品	魚介類
	野菜・海藻
	果物
3) 家具・家事用品	家事サービス
4) 保険・医療関連	医薬品
	健康保持用摂取品
	眼鏡
	保険医療サービス

【備考】高齢率が高いことにより、教育費、テレビゲーム、玩具、子供用洋服、シャツ・セーターへの支出は低調である。

2) 大字香春

居住者の年代構成 2015年



年代構成

60代未満の人口：51.7%

60代以上の人口：48.3%

町内の60代以上の平均人口割合は44.51%であり、当町丁は高齢化率が3.59%高い。

65歳以上人口比率は38.31%であり、町内平均値(36.01%)より2.3%高い割合となっています。

【特徴】大字香春の消費動向として、1) 食料品、2) 家具・家事用品、3) 保険・医療関連、4) 教養娯楽の支出が比較的堅調である。

消費動向の堅調な分類、細目

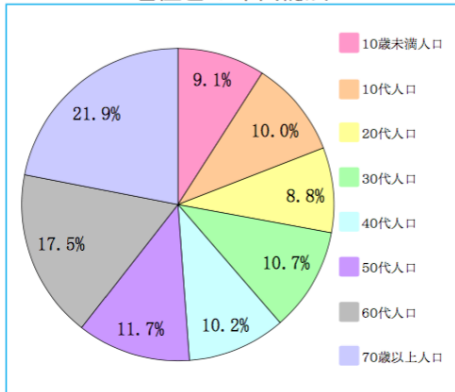
分類	細目
1) 食料品	魚介類
	野菜・海藻

	果物
2)家具・家事用品	冷暖房用器具
	室内装備・装飾品
	家事サービス
3)保険・医療関連	医薬品
	健康保持用摂取品
	保険医療サービス
4)教養娯楽	ゴルフ用具
	切り花
	園芸品・同用品
	手芸・工芸材料
	パック旅行

【備考】高齢率が高いことにより、教育費、テレビゲーム、子供用シャツ・セーターへの支出は低調である。

3)大字高野

居住者の年代構成 2015年



年齢構成

60代未満の人口：60.6%

60代以上の人口：39.4%

町内の60代以上の平均人口割合は44.51%であり、当町丁は高齢化率が5.11%低い

65歳以上人口比率が30.33%であり、町内平均値(36.01%)より5.68%低い割合となっています。

【特徴】大字高野の消費動向として、全般的な消費支出が高く、特に1)被服及び履物、2)交通・通信費、3)教育費の支出が比較的堅調である。

消費動向の堅調な分類、細目

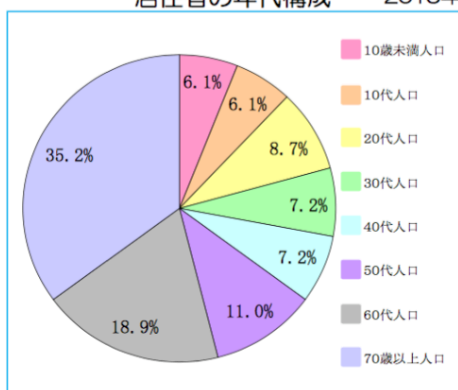
分類	細目
1)被覆及び履物	子供用洋服
	子供用シャツ・セーター
2)交通・通信費	自動車等関係費
3)教育費支出	授業料等支出

	教科書・学習参考教材
	補習教育
	幼児・小学校補習教育

【備考】全体的に消費活動が活発な地域であるなか、特に現役世代、子育て世代が多い地域であることから、教育関係、子供関係品目の需要が相対的に高くなっています。

4) 大字鏡山

居住者の年代構成 2015年



年代構成

60代未満の人口: 45.9%

60代以上の人口: 54.1%

町内の60代以上の平均人口割合は44.51%であり、当町丁は高齢化率が9.59%高い。

65歳以上人口比率が43.94%であり、町内平均値(36.01%)より7.93%高い割合になっています。

【特徴】大字鏡山の消費動向として、1)食料品、2)住居費、3)家具・家事用品、4)保険・医療関連、5)教養娯楽の支出が比較的堅調である。

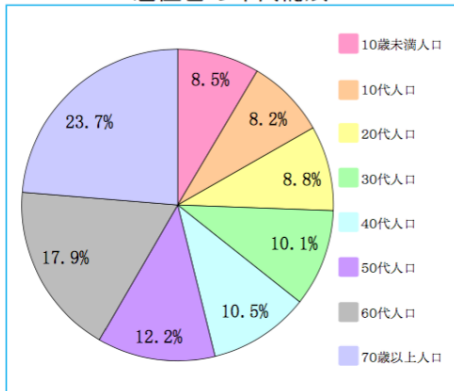
消費動向の堅調な分類、細目

分類	細目
1) 食料品	魚介類
	果物
2) 住居費	家賃地代
	設備修繕・維持費
	設備材料
3) 家具・家事用品	冷暖房用器具
	家事サービス
4) 保険医療関連	医薬品
	健康保持用摂取品
	眼鏡購入
5) 教養娯楽	切り花
	園芸品・同用品
	書籍・他の印刷物

【備考】高齢率が高いことにより、教育費、テレビゲーム、子供用シャツ・セーターへの支出は低調である。

5) 大字中津原

居住者の年代構成 2015年



年齢構成

60代未満の人口: 58.4%

60代以上の人口: 41.6%

町内の60代以上の平均人口割合は44.51%であり、当町丁は高齢化率が2.91%低い。

65歳以上人口比率が32.89%であり、町内平均値(36.01%)より3.21%低い割合となっています。

【特徴】大字中津原の消費動向として、一般的に消費支出が高く、特に1)住居費、2)被服及び履物、3)交通・通信費、4)教育費の支出が比較的堅調である。

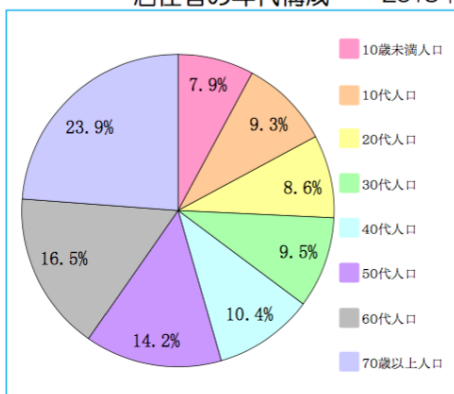
消費動向の堅調な分類、細目

分類	細目
1) 住居費	設備修繕・維持費
	設備材料
2) 被覆及び履物	全般
3) 交通・通信費	全般
4) 教育費支出	全般

【備考】全体的かつ満遍なく消費活動が活発な地域である。

6) 大字柿下

居住者の年代構成 2015年



年齢構成

60代未満の人口: 59.6%

60代以上の人口: 40.4%

町内の60代以上の平均人口割合は44.51%であり、当町丁は高齢化率が4.11%低い。

65歳以上人口比率が30.7%であり、町内平均値(36.01%)より5.31%低い割合となっています。

【特徴】大字柿下の消費動向として、高齢者比率が町内平均より低いにも関わらず消費活動が低調気味である。その中において1)教育費、2)被覆及び履物、3)教養娯楽の一部の支出が比較的堅調である。

消費動向の堅調な分類、細目

分類	細目
1)教育費	授業料等
	教科書・学習参考教材
	補習教育
2)被覆及び履物	男子用洋服
3)教養娯楽	運動用具類
	テレビゲーム機

全体的に消費活動が低調な地域であるが、現役世代、子育て世代が比較的多い地域であることから、教育関係、子供関係品目の需要が相対的に高くなっています。低調な理由として高齢者向けの需要が弱い。